

子宮内膜症関連疼痛における腹部症状・中枢感作関連症状および組織学的・分子生物学的所見の関連に関する観察研究

1. 研究の対象

2018年1月1日～2031年3月31日に当院の産婦人科で子宮内膜症またはその他の婦人科良性疾患のために手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

子宮内膜症では、病変の広がりや疼痛の程度が必ずしも一致せず、治療後も疼痛が持続する患者さんが存在します。本研究では、子宮内膜症または婦人科良性疾患に対して手術を受けた患者さんの診療情報、手術・診療時に採取された余剰検体（血液、腹水、組織など）を用いて、子宮内膜症関連疼痛の実態や疼痛発症のメカニズムを明らかにし、将来の診断・治療の向上につなげることを目的としています。診療情報から痛みや腹部症状、手術・病理所見などを調査するとともに、余剰検体を用いて痛みや炎症に関連する物質や神経の特徴などを調べ、これらの関連を解析します。本研究のために新たな採血や検査、処置は行いません。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2032年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：研究機関の長の実施許可日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録より得られる手術時年齢、身長・体重、妊娠出産歴、病歴、治療歴、疼痛に関する情報、病理組織所見など

試料：通常診療の中で生じた余剰検体(血液、手術で摘出した組織、病理標本など)

4. 外部への試料・情報の提供

研究に情報や試料を提供する際には、お名前や診療録番号など、個人を直接特定できる情報は削除し、研究専用の番号を付けて管理し、研究代表機関へ提供します。

研究専用の番号と個人を対応させる情報は、当院の研究責任者が厳重に管理し、研究関係者以外が閲覧できないよう適切に保管します。また、研究機関への情報の提供は、安全に管理された方法（パスワードで保護された電子データや施錠可能な方法による試料の輸送など）で行います。

5. 研究組織

（利用する者の範囲）

研究代表機関：大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 小玉美智子

共同研究機関：市立貝塚病院 産婦人科 横井 猛
日本生命病院 産婦人科 橋本 奈美子
箕面市立病院 産婦人科 山本 善光

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、ご自身の試料・情報を本研究に利用することを希望されない場合は、ご本人または代理人の方から、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出を受けた場合は、ご本人を確認した上で、その後の試料・情報の利用および他の研究機関への提供を可能な範囲で停止します。ただし、すでに解析が終了している場合や、個人を特定できない集計データに加工されている場合、または研究結果が学会や論文などで公表された後は、情報や試料を取り除くことができない場合があります。

研究への利用を希望されないことを理由として、診療や治療において不利益を受けることは一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学系研究科産科学婦人科学教室

住所：大阪府吹田市山田丘2-2 臨床研究棟3階

担当者：松崎 慎哉

連絡先：06-6879-3351（平日9:00～17:00）

研究責任者：

市立貝塚病院 産婦人科 横井 猛

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 小玉美智子